

2014.JUL

101号

7

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

コミュニティ ふたつ

私と人とまちの間に

もくじ CONTENTS

FEATURE

今だからこそ、 話したい。 町内会のこと。

- 4 夏休み。子どもたちに楽しい思い出を
人と人をつなぐお手伝い
- 5 タイムスリップくさつ
ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん~これって、みんなの問題~
- 6 みんなとめんめん 通算42号
- 7 見つけてスッキリ! ふるさと草津“どっか変”
- 8 熊谷栄三郎の徒然草津 第13回

6月8日、真夏のような暑さの中、事業団設立30周年記念事業として
ロクハ公園で行われた「ロクハ大感謝祭」での一コマ。かつて子ども
だったあなた、前に木に登ったのはいつのことですか。今、子どもの君
たち、木の上からのその眺め、今日の日のこと、いつまでも覚えていてね。

今だから「さつ」、話したい。町内会の「さつ」。

昨年リニューアルした本誌。今年はもっと良くしていくぞ！と鼻息は荒いながらも、内容に対するプレッシャーは高まるばかり。編集部に課せられた大命題、それは「皆さんが何を知らたいと思ってるのか。」そう、あなたが何を知らたいか、思っているのか、ということなんです。企画を練る場所は編集ボランティアさんとの編集会議。「そろそろ編集会議をしないとなあ」なんて思っていたある春の日、とある読者から次のような投稿が寄せられました。

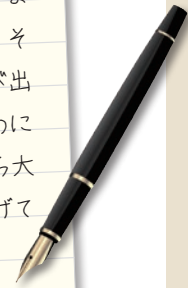
…私の町では婦人会や青年団などの組織はとうに消えてしまいました。最近では古くからの住民であっても町内会を脱会する人もいると聞きます。また、「よし」と意気揚々に移り住んだ新しい住民さんの多くが戸惑いや困惑を感じ、古くからの住民さんと対峙してしまうことも少なくないようです。高齢化や少子化、人口減少も身近に感じつつある現在、こんな状況を何とかしなければともがいているのが全国の集落の実態なのではないかと思うのです。

ここ草津市は、今なお人口が増えている全国的にも珍しい市だと聞きます。新しい小学校ができるとも聞きました。その数年後には「児童不足になるのではないか」といった心配事も同時に聞きました。「これも時代の流れだ。どうしようもない」と、年金生活で自身の趣味に没頭して人生を謳歌している人を目の当たりにすると、改めて恐ろしさを感じることもあります。かくいう私もその一人かもしれません。

二世帯、三世帯が普通に同居していた時代では、世間様との付き合いでも家の中でそれぞれの役割が決まっていました。現在、私の周りの家を見渡すと、高齢の夫婦だけの「家」、子どもと同居していても、その子どもは独身の勤め人で昼間や休日は留守がち。結局、じいさん、ばあさんだけが昼間にいる家、あるいはそんな子だけが独り暮らししている家…私が暮らす昔ながらの古い町にも、このような「家」が急増しています。このような住民が、昔から続く町や村の「しきたり」に従った近所づきあいができるのでしょうか。

さて、私がくどくどと書き記していることの肝心の目的が抜けていました。ここ草津にもたくさんの町内会がありますが、それぞれどのような活動や実態があるのでしょうか。また役員さんが負わされる「役」(やく)とはどのようなものなのかを知りたいのです。それは規約に述べられている表面的なことではなく、学区や市のどのような行事に呼び出されるのか、また実際に参加するのは誰なのか、住民同士のトラブルを解決するために駆り出されるようなこともあるのか…。よく言われる「町内会や地元の役をもらったら大変だ」の言葉に見え隠れする「充て役」のことなど、「コミュニティさつ」で取り上げてもらえないでしょうか。よろしく願いいたします。

市内在住 70代 男性



編集部の上にとんよりと横たわっていた雲の切れ間から光が差し込みました。そうか、町内会。ご承知のとおり草津市では今、小学校区ごとに「まちづくり協議会」という組織が立ち上がり、これからのまちづくりの担い手として期待されています。一方で「自治連合会や町内会はどうなるの？」という声も聞こえてきます。さっそく編集会議で町内会の話をしてみました。でも町内会って当たり前(?)すぎて、「みなさん関心が薄いかも」なんて想像はすぐに吹っ飛びました。にわか「町内会座談会」が始まったのです。編集ボランティアの何人かは町内会長も経験されています。

新しい住民が町内会に入りたがらない理由

話の口火は「新しい住民になかなか町内会に入ってもらえない」といった嘆きの声。

「町の役をしていいたとき、引越してきた人からいきなり町内会費を徴収するのは難しい。神社費も含めて8,000円。もちろんいい顔をされない」「町内会に加入するよう勧誘すると『町内会に入るメリットは？』って聞かれて困ったことがある」なんて人もいました。

それに対して、「街灯や道路、公園など町内会費で賄う部分を説明して加入してもらっている」というアドバイスも。

中には「役員になると充て職が多くて忙しそうだから、町内会には入らない」と露骨に嫌がる人もいます。か。皆さん、若い世代に町内会の加入を促していますが、なかなか大変な様子です。

役員の担い手がいない

投稿にもあった「充て職」に話がおよぶと、町内会の役員の話へと移りました。「役員の担い手がいない」というのは新興住宅地に多い話かと思っていました。最近はその話だけではなさそうです。

「良くも悪くも昔ながらのつながりが強い町に住んでいるが、最近核家族が進んで、高齢者のみの世帯なんかは行事に参加できないからそのうち心苦しくなってきた。内会を脱会する人も出てきた。気にすることないと思うんだけど、つながりが強いところなので余計に気になる。まずまず役員の担い手がなくなっていく」「町内会活動だけでも結構大変なのに市や学区からの参加要請なんかもあったりすると、またかという感じ」。

高齢化、核家族化、動員の負担：昔ながらのつながりが強いような町内であっても役員の担い手不足は深刻になりつつあるようです。

昔の町内会って

この日集まった編集ホランティアは全員が草津にお住まいです。草津に生まれ育った人から、仕事や結婚で30〜40年前に草津に移り住んできた人はたまたま退職後に将来のことを考えて駅前のマンションに移つ

た人まで、草津での住まい経験は様々。そんなことから、昔の町内会へと話は進みます。

「私が引越してきたころは、重箱とお酒をもって町内会に入れてください」と町内会長に頼みに行く風習が残っていましたよ。隣の人がそっと教えてくれたりしてね」との話にあぐりしていると、さらに信じられない話も飛び出します。

「もう20年以上前になるけど、引越してきたら水利組合に挨拶に行かないと水道の引き込みができないなんて言われて、慌てて挨拶に行つたことがあります」本当かなあ(笑)。

「今も地元のお祭りに献灯して、初めて町内の一員としてみなしてもらえるなんて話も聞いたことがありますよ」

高齢化と町内会

いわゆる高齢者が多い編集ホランティアの皆さん(いやいや、皆さんお若いですが)ですが、この歳になつてこそ町内会の大切さを感じ取っている様子です。そんな話題。

「高齢者がまちに増えています。当然、訃報も入ってくるでしょ。でも最近家族葬が多くて、近所でも対応に戸惑うことができてきま

したね。町内会として、どのようにお悔みすればよいのか」「先日、私の町ではついに孤独死があつたんです。死後1週間ぐらい経っていた。昔ながらのつながりの強い町だと思つていたのでショックでしたよ」「長らく町内で生きてきた皆さんの言葉にはやはり重いものを感じます。

恥ずかしながら、日々の生活と町内との関わりをそんなに深く考えていなかった身としては、進行役として口をはさむ余裕すらなく耳を傾けるばかり。

「高齢になつたから町内会を脱会するというのは逆行していると思う。高齢者こそ町内のつながりが必要だと思つてますよ。でもね、災害時要援護者避難支援登録の際、町内会の役員や民生委員が頼みにいかなければならない。これが今の町内の現実なんです。これを今すぐはかりです。」

今だからこそ、の町内会

話は尽きない。時間は足りない。進行役としてそろそろ焦りだしたころ、みんな納得のご意見番的なホランティアさんがポツリポツリと始めました。

「以前は田舎のしほりがきつかった。昔はかやぶぎの家でしょう。火事になると家屋は類焼するので、村や近所のつながりが普通にあつた。農村では田んぼの水が死活問題だから水利は命。だから水利でいざこざが絶えなかつたり、しがらみができたり：そんなこんな嫌気がさした若い世代が街に出て行くようになり田舎から青年団や婦人会が消えた。街では消防だつて警察だつてなんでも専門化している。つながりではなく、お金やサービスで賄えるのでラク。生活は楽だが、代わりに隣近所で助け合うつながりがなくなつた。当時はそれで良かった。それが良かった。でもこつして高齢になると専門の施設に入るしか方法がなくて、これでは大変」と思い始めている。結局、嫌で逃げてきた。隣近所の縛りが高齢になつた今、めぐり巡つて必要な時期にさしかかっている。皮肉なものだけど、ね」

当たり前の大切さ

こつして編集会議いや緊急「町内会座談会」は終了しました。結局、皆さんは町内会の大切さを切に感じていました。その思いは今の年齢を重ねてきたからこそ強くなつていくことをはつきりと感じ取ることができ貴重な時間をいただきました。今、草津だけでなく全国的に町内会や町内のつながりが注目されつつあります。今日の座談会でもあつたように、新しく引越して来られた方々の町内会への加入は芳しくない

次ページ下段へつづく



夏休み。子どもたちに楽しい思い出を



西大路第三町内会 大川 重孝さん▶

(公財)草津市コミュニティ事業団では地域でのつながりを育んだり、団体の活動を知ってもらうために行う祭りやイベントで欠かせない色々な機器を貸し出しています。町内会などの役員さんって、毎年変わるところも多いですね。当然、機器の貸出手続きのために、まちづくりセンターに来られる顔ぶれも変わります。そんな中、毎年、子ども会の新しい役員さんに付き添い「今年も来たよ」と声をかけてくれる人がいます。夏祭りを控えたこの時期、まちセンではちょっとした“顔”!?の西大路第三町内会の大川重孝さんにお話を聞きました。大川さんのこと、町内のこと、大川さんが毎年顔を出してくれる理由とは。

私の町内では子ども会と女性部だけは毎年、役員さんが交代します。だから「どのように動いたらよいの」なんて声もよくあります。特に夏祭り(地蔵盆)は子ども会行事の中でもメインイベント。当然、わからないことだらけ。まずは事業団から、かき氷などの機器を借りるところから準備が始まります。そんなことで毎年、まちセンにおジャマしているわけです。

夏祭りでの人気メニューはイカ焼き器でつくる薄いお好み焼き。子どもたち、大好きなんです。ケチャップ・マヨネーズ・ソースなんかを用意しておけば、子どもたちは好きなようにトッピング。それと、

タコ焼きも「おいしい」って言ってくれますね。おもしろ自転車はみんな乗りたくて行列ができます。子どもたちには夏休みの楽しい思い出を町内でつくってあげたいと思っています。

毎年、子ども会のサポートや登下校時のパトロールをしていると、子どもたちが中学生になってもあいさつしてくれるんです。こんなにうれしいことはありません。町内会いいもんですよ。

まちを支える人の、まちを語る表情は素敵でした。「もっともっと地域の輪が広がるお手伝い」これが私たち事業団の目標です。

人と人をつなぐお手伝い

事業団ではお祭りやイベント、あるいは地域の清掃活動などに欠かせない各種機器をお貸しして、人と人をつなぐお手伝いをしています。

まちづくり機器

- ポップコーン
- かき氷・わたがし
- 鉄板焼き
- おもしろ自転車 ほか

有料

● お申込み ●

まちづくりセンター ☎562-9240

環境緑化機器

- 軽トラック
- 草刈機
- 高圧洗浄機 ほか

無料

*一部実費負担

● お申込み ●

草津市公園事務所 ☎564-3838

● その他、レンタルしたい機器や教材はこちらをチェック ●

レンタルねっと☆くさつ HP <http://kusatsu.or.jp/machisen/rental/>

かもしれません。新しい住宅ができて、町内会をつくらないうちにもあるようにも聞きます。

今年度の「コミュニティくさつ」は今号を入れて4回の発行予定。今日のお話をきっかけにして、今だからこそ町内会を取りあげます。あまり

(座談会の内容は個人の経験に基づく発言や感想です)

にも近すぎて、「当たり前」だと思っていた町内会の大切さや元氣、そして工夫を、取材を通して次号からお届けしていければと思います。お楽しみに。あなたのまちに取材にお伺いするかもしれません。その節はよろしく、です。

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
今ドキご近所のちよつこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。もしかして…これって、みんなの問題かも。

くさつがわ家とお隣さん〜これって、みんなの問題〜



隣は何をする人ぞ

ゆかりさん、口は災いのもとだったようです。皆さんも気をつけましょう。まあ、お向いさんもそんなに気にしてなさそうですし、近所の人となんでも話せるゆかりさんのような人は、今ドキのご近所では貴重な存在。大目に見てくれるでしょう。

たまたま同じ場所に移り住んできた縁から生まれる近所づきあい。代々続く近所づきあいもあるでしょうが、多くの住宅地やマンションなどでは引っ越して来た時に一から関係を築いていくことになりますね。これがなかなか難しい。

職場の上下関係と違い、地域は横のつながりです。多くの部下をもつ社長さんだって、大学のエライ先生だって、みんな「お隣さん」。利害関係もなく、そこに住み続ける以上、ずっと続く関係なのです。誰だって同じ住むなら楽しく話せる間柄になりたいものです。それだけにキュウクツすぎず、ギクシャクもしない間柄、距離感を保つコミュニケーションが必要です。

まずは挨拶から始めてみましょう。そして自分から話しかけてみる。ポイントは共通の話題。子どもたちの学校のこと、庭の草花のこと、趣味や新聞のニュース…そのうち、お互いの適度な距離感が見つかるってものです。きっと、ご近所さんもあなたとの会話を待っていますよ。

さく・com-com / え・まんじゅう



コミュニティ事業団設立30周年企画

タイムスリップくさつ ~草津市30年を振り返る~

この30年間、草津では様々なデキゴトがありました。進む住宅開発による人口増加は著しい都市化へとつながりました。いつも見慣れたこのまちも、その時その時のデキゴトの積み重ねで今があります。ここでは30年間のデキゴトを振り返ります。

建設中の南草津駅(写真協力:草津宿街道交旅館)



《第3弾》立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)開学

平成6年(1994)4月、野路町に立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)が開学しました。当時は理工学部だけでしたが、それでも市の人口のおよそ1/7、約14000人の学生・教職員が県内だけでなく県外からも集いました。9月にはJR南草津駅が開業。キャンパスと南草津を往来する学生でそれまで淋しかった駅周辺にも活気がみなぎります。その4年後には経済・経営学部も加わり、さらに期待や注目が集まるようになります。

大学ができる。このインパクトは経済や環境だけではなく、学生たちが学び実践する場となる各地域や市民活動団体などとの連携・協力など、スポーツや活動を通じて住民が学生たちと共に育ち、大学を身近に感じる機会を重ねながら今に至っています。

BKC開学ウラ話① 木瓜原遺跡

今日も学生が汗を流すクインスタジアムの地下には奈良時代の製鉄炉が残されています。木瓜原遺跡は古代の製鉄コンビナートで、当時の最新技術を誇った地に教育・研究の最高機関である大学ができる。古今の知が集積される。「歴史はめぐる」と感じるお話です。草津の大切な歴史遺産です。

BKC開学ウラ話② JR南草津駅

あれ! 開学は4月なのに南草津駅の開業は9月なの? と思ったあなた、よく気づかれました。これはJRが直後にダイヤ改正を控えていたことから、駅の開業もそれに合わせたため。それまでは草津駅に程近い西友の駐車場から臨時バスを走らせ学生を送迎しました。南草津駅は市民の寄付などで実現した駅です。街路の整備や市街地化が進み生活の動線が大きく変化したデキゴトでした。2011年3月には新快速の停車駅にもなりました。時代ですね。



立命館大学校地の完成(写真協力:草津市)

まちセンの仲間を紹介します



草津市子ども会指導者連絡協議会

3歳以上の子どもたちと保護者、大学生や社会人を含めた約75,000人が会員となり、日々たくさんの会員に支えられながら活動しています。各小学校区では、5年生を対象にリーダー研修を企画運営し、市内全域では6年生リーダーが集まる養成講座も開催しています。子どもたちに対して、「促す」「見守る」「任せる」の視点を大切にしながら体験活動を進めています。

NPO法人 ディフェンス

私たちの生き方は自分一人で決めることが多く、困ったときにお互い助けあいながら暮らしています。しかし、その困りごとは人それぞれ。助けてほしい人は「何を助けてほしいのか」、助ける人は「自分は何ができるのか」をきちんと伝えなくては解決しません。



NPO法人ディフェンスは「障害のある〇〇さん」の生き方を尊重し、地域での自立生活を支援しています。障害のある地域生活実践者が組織の運営に関わり当事者の視点に立って活動しています。一人への支援から社会全体の支え合う土壌づくりにつながることを願って…。



母と子のいのちを守る会草津支部

「お腹の赤ちゃんも社会の大切な仲間」との思いで活動し、今年で27年目を迎えます。

授かる喜び、育てる喜び、命をつなぐ喜びをありがとう。皆さまからの一口1円の「円プリオ基金」では、お腹の赤ちゃんとお母さん

を支援し、これまで全国で415名の赤ちゃんが誕生しました。今後も皆さまの善意に支えていただきながら、母子ともに温かく迎えられるまちづくりを目指していきます。

円プリオ

エンブリオは8週までの胎児のこと。身長は4cm、重さは1円玉と同じ1g、心臓はしっかりと動き、産まれる日“その日”を待つ、小さな命です。

克蘭テーヌ

「克蘭テーヌ」は「光、透明、澄んでいる」を意味するフランス語「クラルテ」の造語で、そのようなアンサンブルを目指して今年11年目を迎えました。毎週土曜の夜(まちセン)にルネサンス時代のミサ曲などラテン語の曲を練習しています。例年3月には草津アマカホールで開催される草津市合唱祭にも出演しています。私たちと一緒に合唱を楽しみ、そして合唱を通じてまちづくりを進めてくれる団員を募集しています。



● <http://www.geocities.jp/clantaine/>

みんなとめんめん 通算42号

お問い合わせ先 ● まちづくりセンター ☎ 562-9240 ☎ 562-9340 ✉ machi@kusatsu.or.jp

ます。運営協議会では、それぞれ自身の活動から少し離れて「みんなの場所」としての、センターの役割やまちのことを考えながら、みんなで歩かず成長する場所です。



このコーナーは、まちづくりセンターの登録団体でつくる「運営協議会」が担当し

「まちづくりセンター」で新たな出逢いを!!



運営協議会 田中 俊雄さん

「ボランティア活動をやってみたい」、どんなボランティアができるかな」と思っても、「なかなか一人では難しい、どこに行けばよいのかもわからない」ということをよく耳にします。

また、仲間と活動されている方も、今までと少し異なったことをやってみたいと思っておられる方、まちセンに「歩足を踏み入れてみてください。」

まちセンには、いろいろな活動をされている人たちがおられ、自分たちに

ないアイデアを持った人たちに出会うことが出来ます。

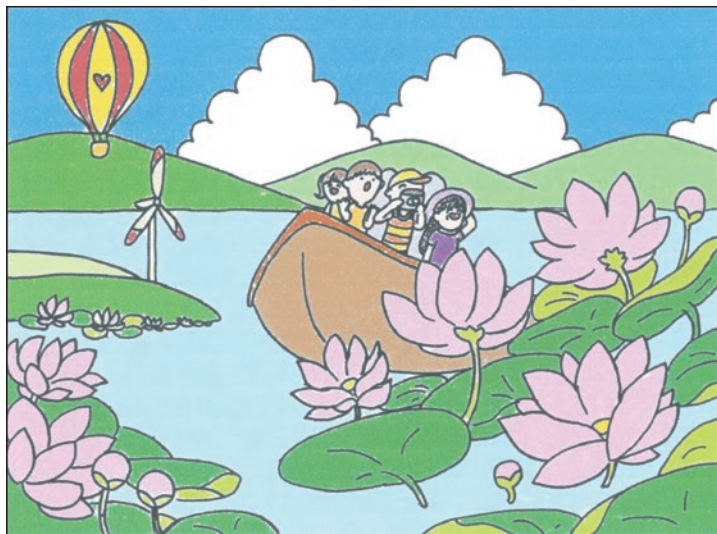
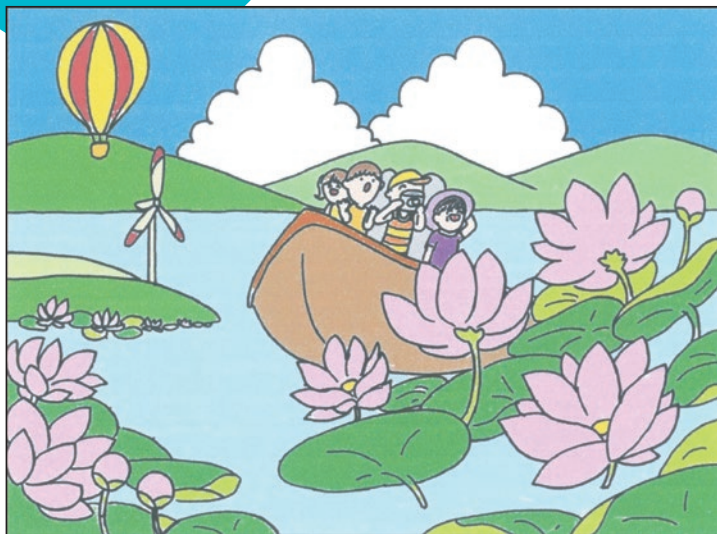
このような思いで私も、まちセン運営協議会に参加しています。その中で「研修・情報・施設」の3つの部会をつくり活動しています。こんな事を学びたい、こんなことを一緒に考えてみたいと思われる方は、ぜひまちセンの運営協議会にご参加ください。お待ちしております。

見つけて ズキリ!

どっか ふるさと草津“変”

草津の夏といえば烏丸半島のハス群生地。13haの広さに広がる淡紅色が湖面を覆うさまは圧巻です。観察船で中からハスを観るのも、ヨシです。

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を答えてね。



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

【応募方法】

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③草津の好きなところや感想を添えてご応募ください。FAX、メールでもご応募できます。

※切...7月31日(木) 当日消印有効

【プレゼント】

正解者の中から抽選でロクハプール親子ペアチケット(900円相当)をプレゼント

【宛先】

〒525-0037 草津市西大路町9番6号
 com-com@mx.biwa.ne.jp
 (公財)草津市コミュニティ事業団
 「コミュニティくさつ7月号」係

●ハス観測船

8月10日(日)まで運行
 大人2,000円/小学生1,000円
 6:30~11:30の間で1時間おきに運行
 (約40分間)
 事前予約が必要

●問合せ・申込み

道の駅草津 ☎568-1208

お知らせ

公共施設の 料金が変わります。

草津市では使用料や手数料の見直しを3~5年ごとに行っています。今回の見直しで事業団がお預かりしているものも含め、いくつかの公共施設において7月1日から使用料や利用のルールが一部変わります。ご注意ください。

詳しくは草津市のホームページ等でご確認ください。

まちづくりセンター

施設料と冷暖房料が一本化され、通年、同じ利用料にて利用できます。従来の冷暖房期間中の利用については割安となります。また3階の会議室が利用日の6か月前から申込みできるようになりました。

草津アマカホール

施設料と冷暖房料が一本化され、通年、同じ利用料にて利用できます。リハーサル室のみの利用申込みが可能となります。

なごみの郷・長寿の郷ロクハ荘

温浴施設の使用料が改定されました。(例:大人330円→400円)

社会体育施設

総合体育館会議室と武道館研修室での施設料と冷暖房料が一本化され、通年、同じ利用料にて利用できます。従来の冷暖房期間中の利用については割安となります。

※詳しくはHP等でご確認いただくか、各施設にお問い合わせください。
 (各施設の連絡先は裏表紙を参照)

お知らせ

自分の街が気に入りだした人、必見です。 ワークブック「そろそろ、この街の話をしようじゃないか。」販売

草津市コミュニティ事業団では、普通に暮らす私たち一人ひとりが、街の見方・考え方・動き方を見つけるためのワーク(体験型会議)の手法をまとめたワークブック「そろそろ、この街の話をしようじゃないか。」を発行しました。

まちづくり協議会、町内会、自主サークル、はたまた家族でも...自分のまちが気に入りだした人、必見です。



▲人と街の未来をつくるワークブック「そろそろ、この街の話をしようじゃないか。」

価格 1,000円(税込)

販売窓口

まちづくりセンター 草津アマカホール
 ロクハ公園(草津市公園事務所) なごみの郷 長寿の郷ロクハ荘

お問い合わせ先 ●草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課
 ☎565-0477

熊谷栄三郎の
徒然草津
つれづれくさつ

第13回

ヒヨのやつ

熊谷栄三郎



琵琶湖のおかげでもあるが、草津の空は広い。そこにスズメやツバメ、サギ、トビなどが飛び交うのを見るのが好きである。

でも正直、ヒヨのやつだけは、あんまり好きではない。悪さをしすぎる。庭の果実が食べ頃になるやいなや、人様より先に食いつくのは、やつらだ。ヒメコブシなどのきれいな花も食べ散らかす。くちばしのとんがったあの顔からして、意地悪げではないか。

そのヒヨめに対する気持ち、が五月からさらに複雑になった。こんな話である。

庭のサクランボの実が例年になく豊作だったので、防鳥ネットでも木ぐるみ囲って外出した日のこと。帰宅すると、ヒヨのやつが二羽、ネットに絡まって進退窮まっていた。サクランボ泥棒に来て失敗したのだ。苦しんでいた。ネットの糸が首や胴に巻きつき、息も絶え絶え。腹がたつたが、助けてやるしかない。この愚か者め、面倒かけよって。が、意表をつかれた。左の素手で握ったヒヨの体がすごく温か

かったのだ。憎たらしいやつがかくも温かいとは。うん、生きていくんだヒヨだ。草津の空の下、同時代を生きている者として連帯感さえ覚えてしまった。

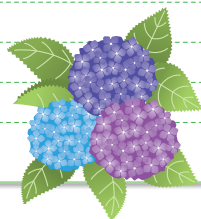
急いで糸を切つてやらねば命が……。右手のハサミが震えた。助けてやるぞ、がんばれよ。救急隊員の気持ちで施術し、わざわざ街路樹の下へ運んで、放してやった。

が、また意表をつかれた。感謝を期待していた私が愚かだった。ヒヨめ、高枝にとまると、変な、しわがれ声で「あほー」と鳴いて飛び去つたではないか。網に絡まったせいで声帯が傷んでいたのかもしれないが、たしかに「あほー」と言った、ような気がする。決して「ありがとう」ではなかった。

今も掌に残る温もりと、「あほー」と聞こえたことへの恨みが交差して、私の思いは複雑だ。次は柿が熟れる秋が勝負。草津の空の下、ヒヨのやつとのドラマは続くだろう。

編集後記

- ゴミ集積所の小屋の傷みが進み、元左官の組長さんが全部塗り直すなどプロならでの仕事で新品同様に蘇りました。班長さんも手伝い集積所はピカピカ。ありがたいことです。(中井)
- 何とかして役を「押し付けようとしている人」と「断ろうとしている人」のお互い必死の遣り取りを傍で見てると楽しくもあり(失礼)、それ以上に悲惨である。「充て役」なるものが多すぎ、どこの会議でも「同じ顔ぶれ」経験したことはありませんか。これで世の中良い方に変わっていくのかな。(辻浦)
- “笑い”は必要だと思います。テレビを見て笑うのではありません。人を見て笑うのです。軽蔑するのではありません。楽しくて笑うのです。人生楽しく生きたいね。(大石)
- 町内会はここ数年、高齢化のせいか『会して議せず、議して決せず、決して行わず』になりつつあるように感じ、離れつつあります。そのうち『会して』もなくなるのではないかと危惧しています。(大條)
- 「みんなで仲良く自分の町内をよくしたい」この基本がなかなか難しい町内会。関わることで得ることも多いのにな。(大村)
- 急な暑さですね。この季節、畑もすっかり様変わりして、もうキュウリやナスが採れだしています。季節に負けず、季節と遊びましょう。(矢原)
- 梅雨中休みで、蒸し暑かったり涼しかったりで困っています。(橋詰)



「コミュニティくさつ」は、みんなでつくるまちづくり情報誌です!

市民編集ボランティア

本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえ市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身の町内会や団体メンバーに本誌を配布してくれる人



広告掲載

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に限ります。(この広告掲載は事業団が行う市民公益寄付金制度における寄付金として処理させていただきます)

- 1回1枠(名刺サイズ)5,000円
- 約6,300部発行(年4回)
- 市内町内回覧のほか、市内公共施設や銀行等に配架

● **申込み・問合せ** ●

(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

